

# 不審者の被害に遭わないために

不審者による小学生の殺害事件が続発しています。

子どもたちに「自分で自分の身を守る」方法を具体的に教えましょう。

たとえば、次のようなことについて、日ごろから家族で話し合っておくことが大切です。

## <外出の約束>

- \* 登下校は、必ず通学路を通る。
- \* 一人で出かけたり、一人で外で遊んだりしない。
- \* 出かけるときは、防犯ブザー（ホイッスル）を持って行く。
- \* 「行き先」「一緒に行く人」「帰る時刻」を家の人に知らせる。
- \* 夜は外出をしない。

## <知らない人に出会ったら>

- \* 知らない人から声をかけられても、安易に近づかない。  
(道を聞かれた場合でも、2 m 以上の距離をとって、相手と話をする。)
- \* 車に乗るように誘われても、絶対に乗らない。
- \* 電話で友達の電話番号を聞かれても、絶対に教えない。  
(「わかりません」と言って切る。または、家の人に替わる。)

## <何かされそうになったら>

- \* 大声を出して叫び、防犯ブザー（ホイッスル）を鳴らして、近くの大人に知らせる。  
(「キャー」という声よりも、腹の底から「ウオ」という声を出した方が異常を感じ取ってもらいやすい。)
- \* 近くに大人がいないときは、「子どもSOSの家(子ども110番の家)」  
や近くの家に駆け込み、助けを求める。
- \* 体をつかまれたら、かかとで相手の足を思いっきり踏む、腕をかむなどして、相手がひるんだすきに逃げる。